

令和5年度 国立研究開発法人 建築研究所講演会

建築研究所講演会は、年に一度、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

日時

会場

令和6年2月22日(木)

つくばカピオホール

開場:12時00分 開会:13時00分

茨城県つくば市竹園1丁目10-1 1階

参加無料

要事前登録・座席自由

ライブ配信も予定

建築物を造る過程の計画と管理、
数理科学的アプローチの光と闇

特別講演

プログラム

13:00	開会	諸説明	(司会) 企画部長 中澤 篤志
13:05	-	理事長挨拶	理事長 澤地 孝男
13:10	講演1	CLTパネル工法建築物の仕様規定ルート 創設に向けた検討	材料研究グループ 客員研究員 山崎 義弘
13:30	講演2	木造耐火構造の基準化に関する取り組み	防火研究グループ 主任研究員 鈴木 淳一
13:50	講演3	木造建築物の重量床衝撃音遮断性能向上 技術に関する検討	環境研究グループ 上席研究員 平光 厚雄
14:10	講演4	公的統計マイクロデータを活用した推計手法の新展開 ～共働き子育て世帯、空き家、災害リスク地域人口を捉える～	住宅・都市研究グループ 主任研究員 中野 卓
14:30	休憩		
14:40	講演5	杭撤去による地盤の緩みを微動探査から 推定する可能性	構造研究グループ 上席研究員 新井 洋
15:00	講演6	津波シミュレーションと津波波源モデルの構築	国際地震工学センター 上席研究員 藤井 雄士郎
15:20	講演7	木造家屋の水害による損傷状況と作用する 外力に関する考察	材料研究グループ長 榎本 敬大
15:40	講演8	被災地調査にもとづく浸水被害を受けた住宅の 復旧方法に関する研究	建築生産研究グループ 主任研究員 渡邊 史郎
16:00	休憩		
16:10	特別講演	建築物を造る過程の計画と管理、 数理科学的アプローチの光と闇	早稲田大学理工学術院 名誉教授 嘉納 成男
17:10	終了予定		

早稲田大学理工学術院名誉教授

嘉納 成男

1947年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。専門分野は建築生産。博士(工学)。

スタンフォード大学客員教授、日本建築学会副会長等を歴任。

1995年、「建築工事における工程計画手法に関する一連の研究」にて日本建築学会賞(論文)受賞。

2023年、「工程計画と管理における数理科学的手法の開発とそのICT化の促進に関する学術的貢献」にて日本建築学会大賞を受賞。

著作・共著に「建築工事における施工シミュレータ:設計BIMと施工BIMとの橋渡し」、「建設プロジェクトにおけるVEの活用」、「ワポットのほん<6>ロボットのための家」等。



主催・問い合わせ先
国立研究開発法人 建築研究所
企画部企画調査課
TEL.029-879-0638
<https://www.kenken.go.jp>



申込期限 令和6年2月15日(木) 17時

左記のQRコードよりお申し込みください。
定員に達し次第受付終了とさせていただきます。
予めご了承ください。